

市報 やまぐち

2019

4/1

April

No.322



特集 平成 31 年度当初予算とまちづくりの概要 2

■大内氏遺跡指定 60 周年 大内氏が築いた歴史をひもとく 8

■市政トピックス 10

■平成 31 年度 組織改編のお知らせ 12

■第 24 回中原中也賞「する、されるユートピア」 13

■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」 14

■国際交流員コラム「ホストタウンってしっちょる？」 15

当初予算の概要

一般会計予算総額

901億8千万円

- ✓ 対前年度比で 30 億 3 千万円増 (3.5%増)
- ✓ 未来へつながる投資 (投資的経費) は約 177 億 7 千万円を確保
対前年度比で約 2 億 4 千万円増 (1.4%増)
- ✓ 国の補正予算第 1 号 (熱中症対策として学校施設のエアコン設置) と第 2 号 (防災・減災、T P P 協定の早期発効に対応するための農林水産業の強化策等) に対応した補正予算を、平成 30 年 12 月 (36 億 6 千万円) と平成 31 年 3 月 (約 19 億 2 千万円) に編成、当初予算と一体的に 13 カ月予算を編成

◆今年度の当初予算の策定にあたって

平成 31 年度は、第二次山口市総合計画の計画期間 2 年目となり、山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度となります。また、平成の時代から、新たな元号のもと、新しい国づくり、そして山口のまちづくりを未来につなげていく、歴史的に意義深い年度です。

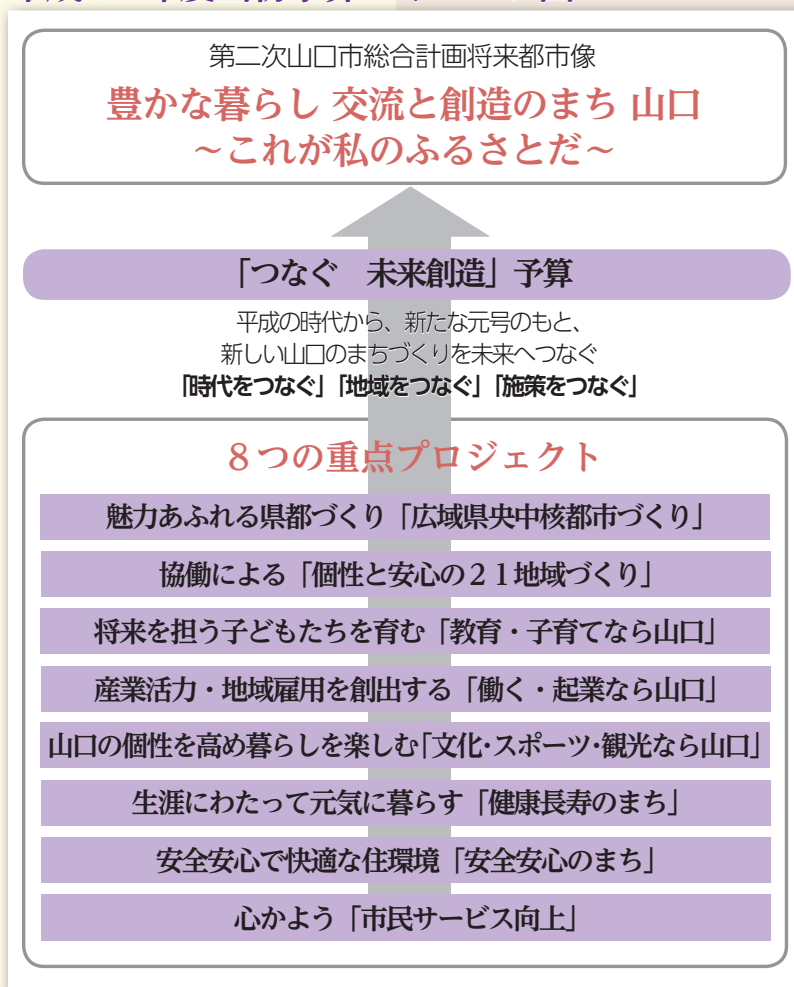
そこで、本市の平成 31 年度当初予算を、「時代をつなぐ」、「地域をつなぐ」、「施策をつなぐ」の 3 つの「つなぐ」を基調とする「つなぐ 未来創造」予算と位置づけました。

◆3つの「つなぐ」

まず、高齢者人口が最大となる 2040 年代における諸課題を見据え、各分野において、「人づくり」・「生産性」・「働き方」の改革に一体的に取り組みながら、積極的な社会基盤整備と事業展開により、新たな時代を拓く挑戦を進める「時代をつなぐ」。次に、「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の 21 地域づくり」のプロジェクト展開を通じ、山口県央連携都市圏域の各市町、山口都市核と小郡都市核、市内 21 地域がつながり、ともに発展するまちづくりを目指す「地域をつなぐ」。そして、地方創生の取り組みを進め、第二次山口市総合計画前期基本計画の 8 つの重点プロジェクトを施策横断的に展開する「施策をつなぐ」。これら 3 つの「つなぐ」取り組みを進め、今日までの本市のまちづくりと、新たな時代のまちづくりをつなぐための意欲的な事業展開を可能とする積極型の予算を編成しました。

このような基本的な考え方と方向性のもとで、新たな時代に向けた、更なる挑戦を続けることとし、「住んで良かった これからも住み続けたい」と心から思える定住実現のまちづくりに取り組んでいきます。

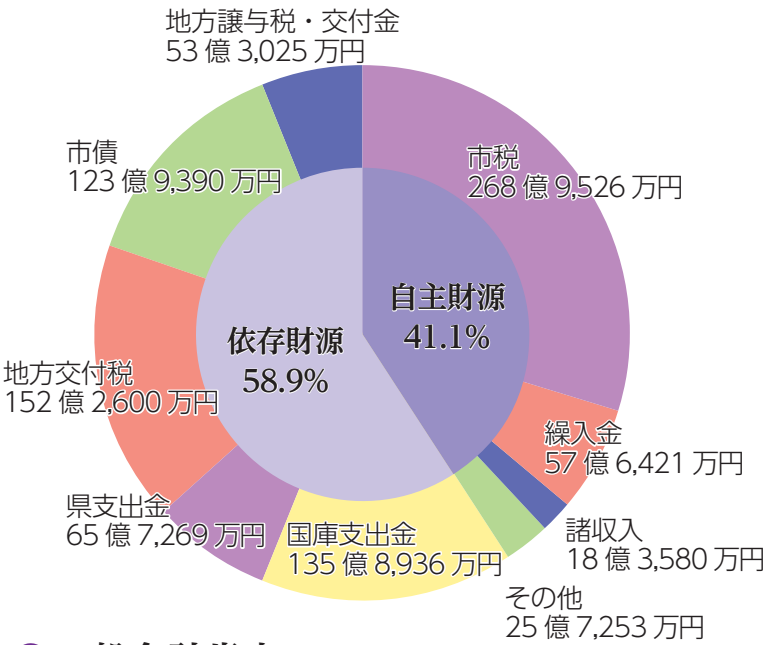
平成 31 年度当初予算のイメージ図



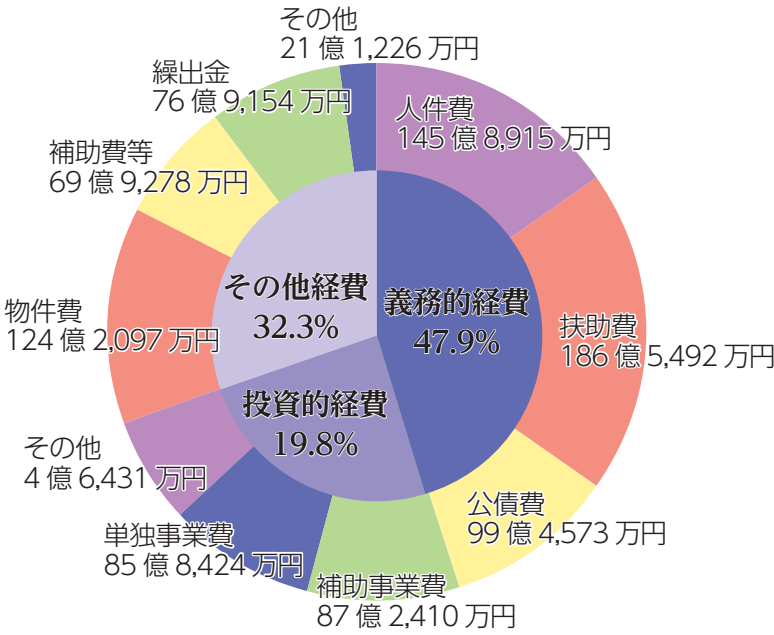
問 企画経営課 ☎ 083・934・2747 財政課 ☎ 083・934・2750

平成31年度当初予算と
まちづくりの概要
「つなぐ 未来創造」予算

● 一般会計歳入



● 一般会計歳出



● 特別会計の予算内訳

特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

(単位：万円、%)

区 分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	206 億 7,179 万円	▲ 0.8%
後期高齢者医療	30 億 5,582 万円	▲ 2.2%
介護保険	189 億 1,786 万円	6.7%
介護サービス事業	1,485 万円	▲ 63.7%
駐車場事業	3,728 万円	0.0%
鑄銭司第二団地整備事業	3 億 7,972 万円	2,671.7%
簡易水道事業	5 億 9,726 万円	▲ 43.4%
地域下水道事業	644 万円	5.7%
国民宿舎	1,300 万円	▲ 83.6%
特別林野	4,649 万円	386.9%
合 計	437 億 4,051 万円	1.9%

● 一般会計歳入

市税は、景気回復が続く見込みであることから、個人市民税は約8千万円、法人市民税は約1億8千万円の増収を見込んでいます。固定資産税は、新増築家屋の増や企業の設備投資による償却資産の増などにより、約1億1千万円の増収を見込んでおり、市税全体では約4億9千万円増(1.9%増)を見込んでいます。

地方交付税は、基準財政需要額に算入される公債費の増や臨時財政対策債振替額の減などにより、普通交付税は約4億2千万円の増額を見込んでいます。

● 一般会計歳出

人件費は、退職者の増加に伴う退職手当の増や養護老人ホーム秋楽園でいます。特別交付税は、地方財政計画に基づき、約2千万円の増額を見込んでおり、全体では約4億4千万円増(3.0%増)を見込んでいます。

市債は、新山口駅北地区拠点施設整備事業や地域交流センター建設事業の進捗などによる事業費の減額により、減額を見込んでおり、約26億5千万円減(17.6%減)を見込んでいます。

組合解散に伴う職員の受け入れなどにより、約5億7千万円増(4.1%増)となります。

扶助費は、私立保育園や認定こども園の定員拡大、幼児教育・保育の無償化に伴う給付費の増加、こども医療費の自己負担分無料化の対象範囲の拡大などにより、約13億1千万円増(7.5%増)となります。

建設事業費等を含む投資的経費は、新山口駅北地区拠点施設整備をはじめ、中心市街地における環境整備や市街地再開発事業に対する支援のほか、地域交流センター建て替えや総合支所との一体整備などの都市核や地域づくりの基盤整備、学校施設の長寿命化改修、待機児童解消に向けた保育施設や放課後児童クラブの整備、清掃工場の基幹的設備改良工事などにより、約2億4千万円増(1.4%増)となります。

補助費等は、山口ゆめ花博の終了や養護老人ホーム秋楽園組合の解散などにより、約6億円減(7.9%減)となります。

協働による 「個性と安心の 21 地域づくり」

ふるさとにぎわい計画（総合支所エリアの地域経済活性化）

平成 30 年度に、各総合支所において、地域資源を活用した地域経済活性化計画である「ふるさとにぎわい計画」を策定しました。平成 31 年度は、この計画に基づくプロジェクトを各地域で進めます。

小郡がつながる・つなげるプロジェクト

【1,709 万円】

新山口駅を中心とした一帯を交流の核として、学生等の若者、企業、地域住民や団体等が、多様な交流を図る取り組みを進めることで、小郡地域をはじめとする市内における定住促進や雇用創出につなげます。

あいお海洋資源活用プロジェクト

【1,519 万円】

秋穂荘・道の駅「あいお」等を交流の核として、車えびをはじめとする海洋資源を活用した海洋交流拠点づくりを進めます。

▶リニューアルした秋穂荘で提供される、秋穂の車えびを活用した特産品メニュー



あとう農山村いきいきプロジェクト

【5,402 万円】

平成 31 年度にリニューアルオープンする道の駅「長門峡」を交流の核として、交流人口の増加、農畜産物の販売促進を図ります。

きらら・あじすプロジェクト

【1,780 万円】

道の駅「きらら あじす」を交流の核として、地域の農水産物や特産品の販売拡大、山口きらら博記念公園との近接性を生かした交流人口拡大の取り組みを進めます。



▶南部地域の交流人口拡大の取り組みのひとつ「ソール・ド・ヤマグチ湾」

重源の里とくぢプロジェクト

【1,223 万円】

豊かな自然や奈良東大寺再建事業を行った重源上人ゆかりの地域資源などを生かした交流人口拡大を図り、東大寺サミット開催を目指した活動や、特産品販売所「南大門」の機能強化に取り組みます。



▶徳地の特産品を扱う「南大門」の外観

地域を支える拠点づくり・協働のまちづくり

総合支所エリアの地域拠点整備

【3 億 9,081 万円】

地域交流センターの建替整備

【12 億 9,924 万円】

阿知須、徳地地域では、老朽化が進んでいる総合支所と地域交流センター等を複合施設として一体的に整備します。また、小郡、佐山、二島、鑄銭司地域の各地域交流センター、阿東地域の篠生分館の建替整備を進めます。

市民活動支援センターの機能強化

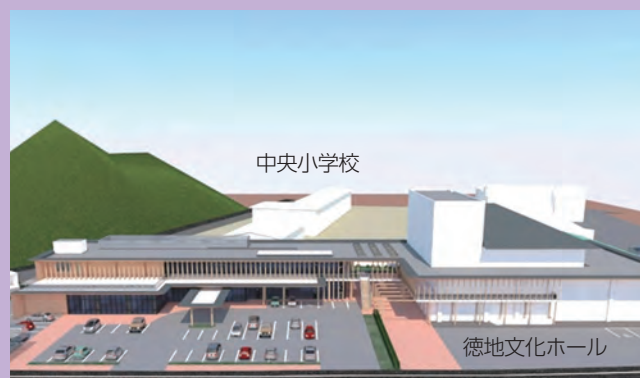
【4,710 万円】

山口市市民活動支援センター「さぼらんて」の移転にあわせて、市民交流機能の拡充を図ります。

地域づくり交付金の交付

【2 億 133 万円】

地域づくりの支援として、市内 21 の地域が主体的に使い道を決定できる交付金を交付します。



▶国道 489 号側（南大門側）から見た徳地総合支所イメージ

魅力あふれる県都づくり 「広域県央中核都市づくり」

小郡都市核づくり

新山口駅北地区拠点施設整備事業

【11 億 875 万円】

新山口駅北地区産業交流スペース

運営準備事業

【480 万円】

産業交流拠点として整備を進めている「新山口駅北地区拠点施設」の建設工事に着手します。また、施設で展開する起業・創業・中小企業支援機能等の開設に向けた準備を進めます。

新山口駅ターミナルパーク整備事業

【5 億 9,600 万円】

平成 31 年度の完成に向け、新山口駅南口（新幹線口）の駅前広場や周辺道路の整備等を行います。



▶ 新山口駅南口（新幹線口）駅前広場の整備イメージ

広域ネットワーク機能の強化

（仮称）湯田 P A スマートインターチェンジの整備

【3 億 9,341 万円】

中国縦貫自動車道の湯田パーキングエリアにおいて整備を進めているスマートインターチェンジについて、平成 31 年度末の供用開始を目指して、建設工事等を進めます。



▶ （仮称）湯田 P A スマートインターチェンジの整備イメージ

山口都市核づくり

新本庁舎整備事業

【7,955 万円】

建物のデザインや構造、配置、必要な機能や設備など基本的な設計内容を検討します。

多世代交流・健康増進拠点施設整備事業

【2,310 万円】

湯田地域の温泉資源を活用し、交流や定住の促進につながる「多世代交流・健康増進拠点施設」の整備に向けて、基本計画の策定などを行います。

大殿周辺地区整備事業

【3 億 5,400 万円】

大内文化ゾーンにおける歴史的なまちなみ景観の形成、活用に向けた整備として、道路の美装化や、広場の整備等を行います。

中心市街地核づくり推進事業

【9 億 7,860 万円】

市内初の市街地再開発事業となる黄金町地区における市街地再開発を引き続き支援します。（平成 31 年度完成予定）



▶ 市街地再開発の整備イメージ

広域連携による圏域全体の経済成長

都市連携推進事業

【764 万円】

「山口県央連携都市圏域ビジョン」の重点プロジェクトを、関係 7 市町（山口市・宇部市・萩市・防府市・美祢市・山陽小野田市・島根県津和野町）の連携のもと推進します。また、経済団体の若手組織などが実施する交流促進の取り組みを支援することを通じ、次世代の人材育成を図ります。

県央連携都市圏域情報発信事業

【1,000 万円】

各市町におけるイベント情報やまちづくり情報を、地域情報紙や公式ウェブサイト等を通じて発信し、圏域内の情報共有や交流人口増加につなげます。また、FM ラジオ番組などを活用した圏域情報の発信を行います。

将来を担う子どもたちを育む 「教育・子育てなら山口」

保育園・放課後児童クラブの 待機児童ゼロに向けた取組

【9億6,904万円】

保育園待機児童ゼロに向けた認可保育施設の整備を進め、平成32年度に約260人の定員拡大を目指します。同時に、放課後児童クラブについては、265人の定員拡大を目指して整備を進めます。

幼児教育・保育の無償化

幼稚園・保育園・認定こども園などの利用料について、10月から、3歳～5歳の子ども、0歳～2歳の住民税非課税世帯の子どもが原則無償化されます。

生涯にわたって元気に暮らす 「健康長寿のまち」

総合病院の建替え支援

【1億3,857万円】

総合病院山口赤十字病院の建設工事に対する建替え支援を行います。

高齢者生きがいセンター設置事業

【2,952万円】

高齢者福祉の向上のため、大歳地域において高齢者生きがいセンターの整備に着手します。

健康福祉の拠点づくり事業

【4,103万円】

阿東地域で整備を進めている健康づくり機能をはじめとした複合施設の供用を平成31年度に開始します。

子ども発達支援事業

【468万円】

子どもの発達に関する相談窓口を明確化するとともに、保護者向けの支援ハンドブックの作成等を行います。

心かよう 「市民サービス向上」

電子納付推進事務

【414万円】

スマートフォンで税・料金の納付が可能となるPayB（ペイビー）サービスを導入する等、市民サービスの向上に取り組みます。

小中学校および幼稚園における猛暑対策

【36億6,000万円】

市立小中学校および幼稚園の教室等への空調設備（エアコン）整備を進めます。

英語指導助手配置事業 外国語教育研究事業

【6,118万円】

【93万円】

平成32年度からの新学習指導要領にいち早く対応するため、平成31年度から外国語の授業時間数を増やし、外国語指導助手の増員配置に計画的に取り組みます。



▶英語指導助手による授業の様子

こどもの医療費の自己負担分無料化を拡大

【7億6,259万円】

子育て世帯に対する経済的な支援として、10月から小学6年生までのこどもの医療費の自己負担分を父母の所得に関係なく無料化します。

安全安心で快適な住環境 「安全安心のまち」

（仮称）鴻南出張所整備事業

【1億8,810万円】

鴻南地区への消防出張所の新設に向け、用地購入、造成設計等に着手します。

救助用重機の配備

【6,652万円】

人命救助の迅速化に向けた機能強化として、県内で初めて、救助用重機と重機搬送車を導入配備します。

ハザードマップ等の見直し

【1,050万円】

1,000年に1回程度の大雨を想定して、浸水想定区域の見直しが行われたことから、洪水ハザードマップ等を更新します。

総合浸水対策

【2億2,400万円】

重点的な浸水対策として、湯田地域における雨水貯留施設の整備や仁保川における取水ゲートの改修等を行います。

産業活力・地域雇用を創出する 「働く・起業なら山口」

新規就農者支援事業 [4,982 万円]

新たな担い手を育成するために、実践的な研修、経営開始直後の新規就農者の資金支援などを実施します。

森林経営管理事業 [4,680 万円]

経営管理が行われていない森林について、市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ新たな森林管理の仕組みがスタートします。

経営戦略デザイン事業 [352 万円]

中小企業等における I o T ・ A I 等の先端設備の導入など、生産性改革に向けた経営戦略をデザインする人材育成を支援します。

生産性向上支援資金の創設 [150 万円]

制度融資において、中小企業等の生産性向上などに資するよう、I o T ・ A I 等先端設備等導入に係る貸付制度を新設し、融資保証料を補助します。

働き方改革推進事業 [241 万円]

働くすべての人が、意欲と能力を十分に発揮できる働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者の支援を行います。

事業承継支援事業 [1,000 万円]

商工会議所や商工会、土業等専門家に、金融機関や行政を加えたプラットフォームを形成し、事業承継に対する支援制度を創設します。

外国人材の受入環境整備 [510 万円]

平成 31 年度から新たに外国人材の受け入れが拡大されることから、市内在住外国人に対して必要な支援や検討を行います。

安心快適住まいる助成事業 [1 億 5,400 万円] プレミアム付商品券発行事業 [6,736 万円]

消費税率引き上げに伴う消費喚起として、10 月 1 日以降着工の市内施工業者を利用したリフォーム費用の一部を商品券により助成します。また、低所得者・子育て世帯を対象にプレミアム付商品券を販売します。



▶事業承継支援事業連携協力協定書調印式の様子

山口の個性を高め暮らしを楽しむ 「文化・スポーツ・観光なら山口」

(仮称) 山口ゆめ回廊博覧会の開催準備 [7,990 万円]

平成 33 年度に山口県央連携都市圏域で開催する周遊型博覧会「(仮称) 山口ゆめ回廊博覧会」の開催に向け、コンダクターの決定、実施計画の策定、インバウンド誘客促進としての地域通訳案内士の育成、重点プログラムの造成などの準備を進めます。



▶山口県央連携都市圏域ロゴマーク

ホストタウンスポーツ推進事業 [2,938 万円] ホストタウン交流事業 [637 万円] 東京オリンピック・パラリンピック 推進事業 [207 万円]

東京オリンピック・パラリンピックにおけるスペインのホストタウンとして、スペインの生活文化や習慣などに触れる国際理解の取り組みや、水泳スペイン代表チームのトレーニングキャンプの受け入れ等を通じた国際交流を図ります。同時に、子ども達の東京オリンピック・パラリンピックやスポーツに対する関心を高める取り組みとして、本市ゆかりのトップアスリートによる講演や実技指導などを実施します。



▶開館 25 周年を記念して販売される LINE スタンプやグッズの一例 (左は記念館特製の鉛筆)

中原中也記念館 25 周年記念事業 [557 万円]

開館 25 周年を迎える中原中也記念館の記念事業として、企画展やグッズ制作などを実施し、中原中也の魅力を広く発信します。

◆大内氏遺跡を 生かし伝える

「大内氏遺跡 附 凌雲寺跡」は、昭和34年（1959）に国の史跡に指定されました。山口盆地を中心に所在する4つの遺跡からなります。

山口市教育委員会では、この史跡を現代に生かし、未来へと伝えるため、平成31年3月31日に大内氏遺跡保存活用計画を定めました。史跡の特色や価値を明らかにしたうえで、保存・活用の基本理念や方法を定めています。また、大内文化を生かしたまちづくりなどと連携しながら、史跡の保存・活用に取り組むこととしています。

その初年度となる平成31年度は、大内氏遺跡が国の史跡に指定されて60周年にあたることから、史跡をより身近に感じていただけるよう「大内氏遺跡指定60周年記念事業」の各種イベントを開催します。



館跡 池泉庭園

大内氏遺跡指定 60 周年

大内氏が築いた歴史をひもとく

図文化財保護課 ☎ 083-920-4111

◆西国一の守護大名 「大内氏」とは

大内氏は、室町時代の山口を拠点として、西国を治めた守護大名です。古代には周防国府に仕えていましたが、次第に勢力を増し、南北朝期には周防・長門の守護に任ぜられました。最盛期には、東は安芸・石見、西は筑前・肥前という広い地域を治めました。中央政界においては、南北朝内乱、応仁・文明の乱という2つの乱に関わり、幕府から追放された足利義隆を将軍に復職させました。また、西国に拠点を置くという地の利を生かし、中国大陸や朝鮮半島など東アジア諸地域と交易を行いました。こうした京都や海外との交流の結果、山口では両文化を融合した大内文化が花開きました。



香山公園 24代大内弘世の像

◆大内氏遺跡指定60周年 記念イベント

大内文化をより身近に感じていただくため、各種イベントを行います。募集については市報等でお知らせします。

5月26日(日)

講演会

大内義隆の遷都計画

―もうひとつの戦国時代―

■時間 13時30分～16時

■場所 山口県教育会館大ホール
(大手町2-18)

■内容 大内氏研究の第一人者による講演会です。

■講師 トーマスD. コンラン氏
(米国のプリンストン大学教授)

■講師略歴 10～16世紀の日本における戦争や儀式の実態、政策意思決定のあり方や理念、社会構造について研究している。代表的著書に『図説戦国時代 武器・防具・

戦術百科』など多数。



トーマス D. コンラン氏

山口に息づく大内文化

山口祇園祭「鷺の舞神事」

24代弘世が京より勧請した祇園社（今の八坂神社）の室町時代より続く山口の代表的な祭礼。京都の祇園社では既に途絶え、現在では行われていません。



常栄寺 雪舟庭

雪舟は、大内氏の船で明国に渡るため山口を訪れ、大内氏の庇護のもと天花の雲谷庵を拠点に活動しました。常栄寺庭園は29代政弘が雪舟に築庭させたと伝えられています。



国宝・瑠璃光寺五重塔

応永の乱で敗死した25代義弘の菩提を弔うため、弟の26代盛見が建立した、大内氏の文化遺産です。室町時代中期におけるもっとも秀でた建造物と評されています。



一の坂川周辺

24代弘世は、京に憧れを抱き、一の坂川を鴨川に見立て、京に模した街づくりをしたと言われています。ゲンジボタルは宇治から取り寄せたものと伝えられています。



史跡の位置図



史跡大内氏遺跡の概要

大内氏が中世の政治、経済、文化に残した功績は極めて高く、市内にある4つの遺跡（館跡・築山跡・高嶺城跡・凌雲寺跡）は、国の史跡に指定されています。



1. 館跡（大殿大路字竹原）

大内氏の居館跡で、中世都市山口の中心に位置します。大内氏滅亡後は、龍福寺となりました。



2. 築山跡（上笠小路字築山）

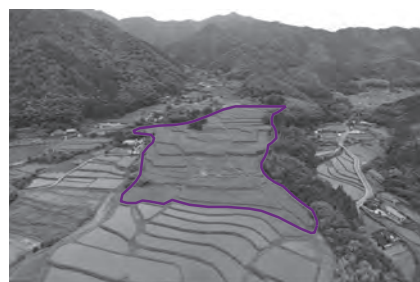
大内教弘が守護職を譲った後の居館跡で、その後、教弘を鎮魂する施設に変化しました。



山頂付近が指定範囲

3. 高嶺城跡（上宇野令字高嶺）

大内義長が築城を開始、後に毛利氏が支配に利用しました。館跡とともに続日本100名城に選定されました。



4. 凌雲寺跡（中尾字寺内ほか）

大内義興の菩提寺と伝えられる中世寺院跡で、巨石を用いた石垣群が残っています。

10月下旬～12月中旬

特別展

大内氏のトビラ

ー山口をつくった西国大名ー

大内氏が果たした功績を紹介します。

特別展会期中

バスツアー

大内氏ゆかりの史跡めぐり

市内に残る大内氏ゆかりの史跡を学識経験者による解説でめぐります。

特別展

ギャラリートーク

学芸員による展示資料の解説を行います。

9月下旬

イベント

大内文化ナイト

大内氏が体現した「国際交流」と「先進性」等をテーマとしたナイトイベントを開催します。

7月20日(土)

講演会

京都の祇園祭と山口の祇園祭

祇園祭研究者として知られる河内将芳氏（奈良大学）による講演。御神幸の当日に講演会を開催します。

4月27日(土)～5月6日(月・休)

イベント

お写真歩フォトラリー

大内文化特定地域で史跡スポットを撮影しながら巡るフォトラリーです。

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

キリンビール（株）オフィス設置に関する協定を締結

キリンビール株式会社（本社東京都中野区）が小郡に営業の拠点となるオフィスの設置を決定され、2月14日（木）、同社と本市の間でオフィス設置に関する協定書の調印を行いました。

本市では、小郡都市核を県ナンバーワンのビジネス街へと発展させるため、平成30年度、小郡都市核においてオフィス等を設置する企業に対する支援制度「小郡都市核オフィス等立地促進補助金」を創設しており、今回が、補助金交付の第3号となります。

岡田則之山口支店長は、「県内全域へのアクセスの良さを重視して、山口市に拠点を設置することを決めた」と述べられました。このたびのオフィスの設置は市外からの移転となり、15人の方が



握手を交わす市長と岡田支店長（左）

就業される予定です。

調印にあたり、市長は、「明治維新150年を記念したデザインのビールを製造、販売されるなど地域に貢献いただいております、オフィス設置を歓迎する」と挨拶しました。

産業立地推進課 ☎ 083・934・2813

南部地域で活動する地域おこし協力隊が3人着任

3月1日（金）、南部地域の「地域おこし協力隊」として新たに3人が着任し、山口総合支所で委嘱状交付式を行いました。

地域おこし協力隊とは、総務省が支援する制度で、都市地域在住者に、地域ブランドや地場産品の開発・販売・宣伝等の地域おこし活動に取り組んでいただきながら、協力隊の定住・定着を図るものです。本市では平成25年度から本制度を活用しています。

このたび着任した3人、田中愛生さん、平塚海渡さん、中岡佑輔さんは、南部地域の豊かな自然や多彩な農水産物などの地域資源を活用し、南部地域に人を呼び込む仕掛けづくりに取り組む南部地域ニューツーリズム形成をテーマに活動します。



村田部長（右）と握手を交わす隊員

交付式で村田尚土地域生活部長は「今までに培われたことを大いに発揮され、南部地域の交流人口が一層拡大すること

を期待している」と激励。田中さん、平塚さん、中岡さんはそれぞれ「山口市にある観光資源や地域資源を調べて、それをうまく利用して観光業を盛んにしたい」、「海外に居住していたときに日本の過疎問題を何とかしたいと思った。この思いを行動に移したい」、「一人でも多くの方に南部エリアの魅力を伝えられるよう情報発信をしていきたい」と意気込みを語られました。

3人の任期は、最長で平成31年3月1日から3年間です。本市では、このたび着任した3人を含め12人が、地域おこし協力隊として活動しています。

固定住促進課 ☎ 083・934・2942

「狐の足あと」が入館者数50万人を達成

3月4日（月）、湯田温泉観光回

遊拠点施設「狐の足あと」の入館者が50万人を達成し、記念セレモニーを開催しました。

「狐の足あと」は、湯田温泉を中心とした本市の魅力の情報発信や体験・憩いの場を提供するまちのにぎわいを創出する拠点として平成27年3月22日に開館して以来、年間平均で約12万6千人の皆様をお迎えしています。

名湯館長の湯田温泉マスコットガール湯田ゆう子ちゃんも見守る中、50万人目としてお迎えしたのは、滋賀県東近江市から観光に来られた川島康弘さん、真由美さんご夫妻で、市長が花束、吉岡館長が記念品を贈呈しました。

川島さんご夫妻は、「湯田温泉のお湯が気に入ったので、足湯と山口の美味しいものがあるカフェを楽しみたいと思い、狐の足あとを訪れた。50万人目の来場者となり、旅の良い思い出となった」と笑顔で話されました。



市長から花束を渡される川島夫妻

は、「平成最後の春に、予想よりも早く50万人目をお迎えできて大変うれしく思う。山口市にお越しいただ

き感謝する」と来場のお礼を述べました。

今後とも、「狐の足あと」では、足湯、山口の素材を生かしたカフェメニューの提供や、さまざまなイベントを開催しながら、「観る」、「食べる」、「買い物する」の情報提供をしつかりと行い、湯田温泉をはじめとした山口の旅の魅力を積極的に発信していきます。

☎ 観光交流課 083・934・2810

新入学児へ防犯ブザーとランドセルカバーを贈呈

3月6日（水）、全国労働者共済生活協同組合連合会山口推進本部（中繁尊範本部長）と山口ライオンズクラブ（安田和生会長）が、今春、市内の小学校に入学する児童用の防犯ブザーとランドセルカバー各1800個を市に寄贈されました。



子どもたちに防犯ブザーなどを手渡す市長ら

山口総合支所で贈呈式が行われ、園児を代表して出席した湯田幼稚園の年長児4人に、防犯ブザーとランドセルカ

バーが手渡されました。4人は声を合わせて「交通安全に気をつけて元気いっぱい小学校に通学する」と感謝の言葉を伝えられました。

市長は、新入学児に「小学校では、優しい先生方が、みなさんを待っている。たくさんのお友達と楽しく勉強や運動に取り組み、充実した学校生活を送って欲しい」と述べ、また、参加者に「大きなランドセルを背負い通学する新入生の姿は、私たちに希望や春、嬉しさを与えてくれる。その一方で交通事故に遭わないか、事件に巻き込まれないかという心配もある。今日寄贈いただいた防犯ブザーとランドセルカバーは、そういった不安を一掃してくれると思う」と述べました。

防犯ブザーと、ランドセルカバーは、教育委員会学校教育課が、市内の国公立小学校34校に振り分け、入学式で新入学児童全員に配る予定です。

☎ 生活安全課 083・934・2986

YCAM設計者の磯崎新氏プリツカー賞を受賞

山口情報芸術センター「YCAM」を設計した磯崎新さんが、「建築界のノーベル賞」とも称えられるプリツカー賞を受賞することが決まりました。

磯崎さんは大分県出身で、前衛的な建築家として建築界に影響を与え続けています。受賞決定を受け市長は「磯崎氏のご功績が評価され大変喜ばしい。磯崎氏の受賞により、山口情報芸術センター「YCAM」が国内外からさらに注目されることを大いに期待するとともに、新しい芸術文化の創造を行うプラットフォームとしての取り組みを推進し、ブランド力を一層高めたい」と述べました。

山口情報芸術センター「YCAM」は2003年に開館。波形の屋根や開放的な空間が特徴で、市立図書館と先進的な芸術を創作・発信していく施設を併せ持つ複合施設で、国内外から注目を浴びています。

☎ 文化交流課 083・934・2717

磯崎新氏が設計した山口情報芸術センター[YCAM]



安心快適住まいる助成事業 10月以降の工事が対象

住宅環境の向上と、個人消費促進による市内経済の活性化を目的に、平成31年度も安心快適住まいる助成事業を実施します。ただし、平成31年度は消費税率引上げに伴う地域経済対策のため、4月1日以降に契約を締結し、かつ10月1日以降に着工する工事が対象となります。

▼対象工事 10月1日以降に工事を開始するもので、平成32年3月31日までに工事完了届を提出できる工事

▼募集期間 8月1日から10月31日まで。（予算がなくなり次第終了）

▼留意事項 国の次世代住宅ポイント制度に該当する工事は、安心快適住まいる助成事業には該当しません。

安心快適住まいる助成事業

住宅リフォームを市内業者（本社・本店が市内）により工事する場合に、市内共通商品券で助成するものです。詳しくはふるさと産業振興課まで。
☎ 083-934-2719





平成31年度 組織改編のお知らせ

第二次山口市総合計画における施策の推進を図る中で顕在化した課題への対応や、組織体制のさらなる強化のため、平成31年度の組織改編を実施し、施策のさらなる推進とともに、第二次山口市行政改革大綱の基本理念である「市民本位の公共サービスの実現」に取り組みます。

☎ 総務課 ☎ 083-934-2909

障がい者雇用体制の強化



市役所における障がい者雇用を全庁的な取り組みとして推進し、法定雇用率の早期の達成を目指すとともに、共に働くための支援をはじめ、障がい者の方の障がい特性に応じた職場環境の整備を図るため、職員課内に「障がい者雇用推進室」を設置します。

新設 職員課に

障がい者雇用推進室を設置

子育て支援体制の整備



保育幼稚園課内の「保育担当」と「幼稚園担当」を統合して「保育幼稚園担当」とし、保育・幼児教育の無償化への対応や、幼児期の保育・教育に関する子育て支援体制の整備を図ります。

また、「やまぐち子育て福祉総合センター」の所管を、子育て保健課から保育幼稚園課へ移管し、市内の保育園や幼稚園とのより一層の連携強化を図ります。

統合 保育幼稚園課の

保育担当と幼稚園担当を統合

教育支援体制の強化



近年、複雑・多様化し、各学校内だけでの対応が困難となってきた、いじめ、不登校などの生徒指導上の諸問題に対して、児童生徒が直面しているさまざまな問題の原因を探り、安心して学校生活が送れるよう、その解決に向け、対応策を検討、実行していくため、学校教育課内に「児童生徒安心支援室」を設置し、組織的な支援体制の強化を図ります。

新設 学校教育課に

児童生徒安心支援室を設置

農業政策推進体制の整備



農林政策課内の「6次産業推進室」を「農業企画担当」に統合するとともに、「担い手担当」と「産地担当」を統合して「農業振興担当」とし、農業政策の推進における効率的な業務執行を図ります。

統合 農業政策課の

**6次産業推進室と
農業企画担当を統合**

担い手担当と産地担当を統合



☎ 広報広聴課

☎ 083-934-2753

表紙の写真
下尾みうさんが1日消防長に
表紙の写真は、3月2日（土）
に行われた「山口消防春の防火まつり」の様子です。
消防署の制服を着て敬礼しているのは、女性アイドルグループAKB48（チーム8）のメンバーで、本市出身の下尾みうさん（17）です。
防火意識の啓発をするために行われた行事で、一日消防長を務められました。井筒屋前で行われた防火行事で、下尾消防長は、火災予防作品の表彰伝達を行い、消防職員や消防団、婦人防火クラブ、学生消防団、幼年消防クラブ員ら総勢100人以上とともに、中心商店街をパレードして、訪れた人に防火の大切さをPRされました。
本市では、昨年同時期を上回る件数の火災が発生しています。特に住宅火災が多いことから、ご家庭での火気の取り扱いにはご注意ください。

受賞作品『する、されるユートピア』
所収「川をすくう手」より

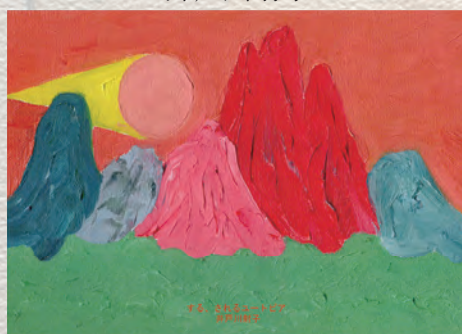
橋は二車線、武庫川が近くと遠く
に続いて。母の入院している病院は、
大きいから川沿いから簡単に見えてくる。
たどり着くまでの歩道橋はらせん、一回
転半、深呼吸したのを覚えてる。手すりは
下が柵になっていて、そこに白いカスや綿毛
がたまる。軍手か何かはめて、指一本分の
すき間、す、と絡めとりたい。中指の太さが
ちょうど良く、軍手はきつと、あみ目に空
気といろいろを取り込むだろう。売店はに
ぎわっていて病院の、たぶんここが一番楽
しいところ。パジャマじゃないからみまい客
の子どもが走っていて、それくらいしか判
別できるものもない。連れられてパタパタ
いわせて、僕も守られるべきものだったの
を思い出す。音が、地面が笑わせてくれた
ころ、今だって、笑ったっていいのだな。

帰り、病室から階段を駆け下りる。七階
からガッと下りるのはエレベーターを待つ
より早い。手すりは体より先のほうをつか
む、猛スピードの足。お腹、肌、頭と吐く
息、いつか失くすけどなぜか今持っていて
、僕のもの。一階に着くまでに泣き終われ
ば、誰にも気づかれない。

同じ道を走る、武庫川に、人や電車の橋
は何本も線で並ぶ。もっと下流のほうに二
人で、新幹線を見に来たことだってたくさん
あったのだ。自転車の後ろに乗せてもらっ
て橋を見上げて、ほら、早いんだね、そし
てまた新幹線が来るのを待つ。次は、ふい
に現れる。今日の母と、ベッドを思い出す
。ゴミ箱には一緒に食べたアイスの箱が入
って、あの小さい窓から外を見て眠る。消
えていくものは終わりが見える、こんな
にはっきり、と思って平気な人たちを追
い抜かす。

第24回

中原中也賞



井戸川 射子

いどがわ・いこ ● 1987年、兵庫県生まれ。関西学院大学社会学部で死生学を学
び、現在は兵庫県で国語教員として勤
務。雑誌などへの詩の投稿を経て、第一
詩集『する、されるユートピア』を私家
版でまとめた。



今年の受賞者が決定

中原中也賞は、日本の近代詩史に足跡を残した本市出身の詩人中原中也の業績を永く顕彰するために創設したものです。2月に行われた選考会で、全国から応募・推薦のあった218点の詩集の中から、井戸川射子さんの『する、されるユートピア』が第24回中原中也賞に決定しました。
閩文化交流課 ☎ 083・934・2717

選考委員評

母の死という一貫したテーマを持ちながら、収録されたどの作品においても、それを表面に出していない。悲しみの抒情にもたれず、むしろ機嫌よく言葉を観察している力量は、素晴らしい。「手のひらは強く握っても／すき間は絶対なくならない」など、作者特有の鋭い言葉のセンスは新鮮。今回の中原中也賞に最もふさわしい。

受賞コメント

国語の教員になって、教え方が一番よく分らないのが詩というジャンルでした。考える道筋を専門書から導くのも、読んで感じたことを話し合うのも、いつまでもピンと来なかった、それならまず自分で書いてみようと思いました。書きはじめると楽しくて、会話は完全にはできないこと、自分の体さえ思い通りにならず、思い出には手が届かないこと、周りのみんなが、たぶん同じくらいに悲しくいること、それを形にできるものがわたしにとっては詩なんだと気が付きました。

受賞の連絡を頂いた後、祖父の遺品である中原中也の著作の横に、自分をはじめで作った詩集を並べ、身の引き締まる思いがしました、おじいちゃん、わたしの読んでね。
この嬉しさを胸に、これから精進していきたいと思います。この度はこのような素晴らしい賞をありがとうございました。



山口ゆめ回廊

美祢市 萩市 津和野町
山陽小野田市 宇部市 山口市 防府市

山口県央連携都市圏域では、各地で多彩なイベントが開催されます。少し足を延ばしてみませんか。ウェブサイトでは、さらに多くの圏域情報を毎月発信しています。



美祢 第32回みね桜まつり



お祭りと花見を一緒に楽しむことができ、夜には桜のライトアップと竹灯籠の光が会場を彩ります。

日時 4月6日(土) 11時～19時30分

場所 美祢市役所駐車場(美祢市大嶺町東分326-1)ほか

問 みね桜まつり実行委員会 ☎ 0837-52-0434

萩 特別展「描かれた萩の大地」



萩の雄大な自然は、大地のさまざまな活動によって形成されました。この萩の大地を、描かれた絵画や絵図から読み解きます。

日時 5月12日(日)まで、9時～17時(入館は16時30分まで)

場所 萩博物館(萩市大字堀内355番地)

料金 大人510円、高校・大学生310円、小・中学生100円

問 萩博物館 ☎ 0838-25-6447

津和野 鷲原八幡宮流鏝馬神事



鷲原八幡宮流鏝馬神事が執り行われます。人馬一体となる勇壮な流鏝馬の迫力は必見です。

日時 4月14日(日) 午前の部 11時10分頃、午後の部 14時10分頃

場所 鷲原八幡宮(津和野町鷲原イ632-2)

問 津和野町観光協会 ☎ 0856-72-1771

山陽小野田 第51回 江汐公園つつじまつり



もちまき、バザー、フリーマーケット、スタンプラリー、

山野草展、人力車乗車体験ほか、多数イベントを開催します。小雨決行。

日時 4月21日(日) 10時～15時

場所 江汐公園(山陽小野田市大字高畑字西山根401-1)

問 江汐公園振興会事務局(市民生活課内) ☎ 0836-82-1134

宇部 新川市まつり



「うべ狐の嫁入り行列」、市内のクリエイターなど

による「星★町マルシェ」など、イベントが盛りだくさん。イベントは5日(日)がメインです。

期間 5月3日(金・祝)～5日(日)

場所 常盤通り(5日は国道190号線で交通規制あり)

問 新川市まつり実行委員会 ☎ 0836-31-0251

防府 防府天満宮花回廊



防府天満宮の大石段に600鉢以上のプランターで文

字を表現した花回廊。期間中は撮影スポットとしてにぎわいます。

期間 4月20日(土)～5月6日(月・休)

場所 防府天満宮(防府市松崎町14-1)

問 防府天満宮大石段花回廊実行委員会 ☎ 0835-22-4352



問 企画経営課
☎ 083-934-2747

また、組紐の「ゆめ」の文字に、歴史をイメージしたエンジ色、地場の宝である地場産品を金色、自然を表現した緑色を、グラデーショにより7色使用し、圏域の7市町がそれぞれの持つ個性を生かし、今後も発展していくことをイメージしています。

ロゴマークの使用は無料ですが、原則申請が必要となります。使用を希望される方は、企画経営課までご連絡ください。

山口県央連携都市圏域の愛称である「山口ゆめ回廊」のロゴマークが決まりましたので、ご紹介します。

このロゴマークは、山口ゆめ回廊の「ゆ」と「め」を、インバウンドを意識し、「和」をテーマに組紐をイメージして、表現しています。

「山口ゆめ回廊」
ロゴマークが決まりました。

「山口ゆめ回廊」 モニターツアー

山口県央連携都市圏域7市町の魅力を発見するモニターツアーを開催します（貸し切りバスで移動します）。詳細は下記までお問い合わせください。

コース	訪問地・テーマ・みどころ	実施日	出発地・帰着地
1	宇部・防府 「お茶に親しむ」 県産茶の9割を生産する大茶園での茶摘体験、防府天満宮では抹茶体験やボランティアガイドと参道を巡り、天神様の魅力を再発見します。	5/4日 (土・祝)	出発 7:30 東萩駅 → 8:30 美東センター 帰着 17:00 美東センター → 18:00 東萩駅
2		5/6日 (月・休)	出発 7:10 津和野駅 → 9:00 新山口駅南口 帰着 16:40 新山口駅南口 → 18:30 津和野駅
3	防府・山口 「パワースポット巡り」 ユニークな体験ができる防府のお寺を訪れ、大内・毛利の時代から続く「風水」の思想が息づく山口の町並みをボランティアガイドとともに歩きます。	5/1日 (水・祝)	出発 7:00 東萩駅 → 8:00 美東センター 帰着 17:00 美東センター → 18:00 東萩駅
4		5/2日 (木・休)	出発 7:00 津和野駅 → 8:50 新山口駅南口 帰着 16:40 新山口駅南口 → 18:30 津和野駅
5	山陽小野田・宇部 「ものづくり探訪」 「窯業のまち」山陽小野田でのガラス工芸体験、宇部では船木宿散策や大切に守り続けられている伝統産業の工房を訪れます。	4/27 (土)	出発 7:00 東萩駅 → 8:00 美祢市役所 帰着 16:30 美祢市役所 → 17:30 東萩駅
6		5/1 (水・祝)	出発 6:30 津和野駅 → 8:20 新山口駅南口 帰着 16:40 新山口駅南口 → 18:30 津和野駅

■**対 象** モニターアンケートに協力いただける方

■**定 員** 各コース定員 30 人（1 グループ 5 人まで。多い場合は抽選）

■**参加費** 1,000 円（昼食込み・入場料込み）

■**申込** 4 月 12 日（金）までに、FAX または E メールで、氏名、〒住所、電話番号、希望するコース番号を明記して、山口観光コンベンション協会に資料請求 ☎ 083-933-0088 FAX 083-933-0089 ✉ info@yamaguchi-city.jp



ホストタウンって しっちょる？



今月からホストタウンの取り組みを紹介するコラムを始めます。今月のテーマは水泳スペイン代表チームのキャンプと市民との交流です。
☎ 国際交流課 ☎ 083-934-2725

¡ HOLA! (こんにちは!) 山口市国際交流員のエフラインです。

現在、山口市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスペインのホストタウンとして、スペインを応援していく取り組みを進めています。そこで、これから1年間、スペインの魅力やオリンピックで期待される種目や選手についてご紹介していきます、オリンピックに向けて皆さんと盛り上がっていききたいと思います。

スペイントップレベルのアスリートが山口へ

山口市は、水泳スペイン代表チームの事前キャンプ地に決定しており、競泳・アーティスティックスイ



山口市菜香亭で着物体験を楽しむ競泳スペイン代表選手たち

ミングの代表選手がトレーニングの合宿に訪れ、今年は水球チームも合宿することになっています。滞在期間中は選手との市民交流も行っています。

市民との交流

昨年12月には、競泳スペイン代表チームと山口県立大学栄養学科の課外活動「山口・ナバラ コラボ広場」の学生が交流しました。選手にとって、山口郷土料理のごちそうや、折り紙体験、合気道の演武といった学生らによる温かい歓迎がとても印象的だったようです。今後も市民の皆さんとの交流を進めていきますので楽しみに。



交流を楽しむ競泳スペイン代表チームと山口県立大学の学生たち



イベントカレンダー

4/6 (土)

オゴオリザクラまつり

所 小郡地域交流センター周辺

問 実行委員会

☎ 083-976-8588

4/6 (土)、7 (日)

湯田温泉白狐まつり

所 井上公園、県道 204 号周辺

問 実行委員会

☎ 083-941-5379

4/7 (日)

さくら祭

所 徳佐八幡宮

問 NPO あとう

☎ 083-956-2526



4/13 (土)、14 (日)

道の駅「願成就温泉」リニューアルオープン 1 周年記念祭

所 道の駅願成就温泉

☎ 083-957-0118

両日:ローズ風呂(女湯露天風呂)

4/13 喜秀太鼓・喜和太鼓(14 時から)

4/14 あとう夢語太鼓(11 時から)、土居神楽舞(14 時から)

4/20 (土)、21 (日)

山口アーツ&クラフツ

所 維新百年記念公園

問 実行委員会

☎ 083-923-5533

4/21 (日)

大原湖さくらロードレース大会

所 ふれあいパーク大原湖

問 実行委員会

☎ 0835-52-0217

4/24 (水)、25 (木)

秋穂八十八ヶ所お大師まいり

所 秋穂、名田島、秋穂二島一帯

問 山口観光コンベンション協会

秋穂支部

☎ 083-984-3741



4/29 (月・祝)

中原中也生誕祭 空の下の朗読会

所 中原中也記念館前庭

問 中原中也記念館

☎ 083-932-6430

中原中也賞贈呈式・講演会

所 湯田温泉ユウベルホテル松政

問 文化交流課

☎ 083-934-2717

開催中のイベント

4/7 (日) まで

桜びより

所 重源の郷

☎ 0835-52-1250

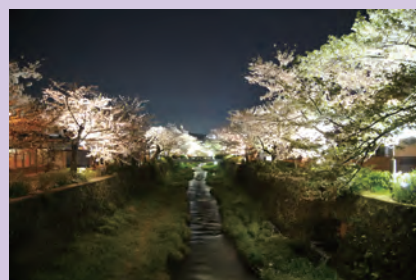
4/ 上旬まで

一の坂川 桜のライトアップ

所 一の坂川

問 山口観光案内所

☎ 083-933-0090



5/6 (月・休) まで

昔のくらし展示「大・台所展」

所 歴史民俗資料館

☎ 083-924-7001

来年 2/11 (火・祝) まで

テーマ展示「四季詩集——中也とめぐる春夏秋冬」

所 中原中也記念館

☎ 083-932-6430



白狐のおもかげをみつけれ

山口のまちを包み込むやわらかな陽気に誘われ、草木も生き生きと芽吹く季節になってまいりました。

さて、先月 4 日、湯田温泉の新たなシンボルとして、平成 27 年 3 月に開館しました「狐の足あと」の入館者が、当初の予定から約 1 年も早く 50 万人を突破しました。

その記念すべきお客様は、

滋賀県に在住の御夫妻の方で、湯田温泉に宿泊された翌日に、食などの本市ならではの魅力を紹介してもらえたと聞いて立ち寄られたとのことでした。

この「狐の足あと」は、湯田温泉のにぎわいの創出と回遊を促進する情報発信拠点として整備をしたもので、御夫妻が施設を訪問された目的と同じであることに、とても嬉しさを感じました。

今月 6、7 日には、本市に本格的な春の訪れを告げる「湯田温泉白狐まつり」が開催されます。狐のあとを追うようにまち歩きを楽しんでもらいたいという想いのこもったこの施設をはじめ、風情あふれる湯の町に、皆さんも足あとを残しに出かけてみませんか。

山口市長 渡辺純也

